

Table with 3 columns: Location, Name, and Contact Info. Includes categories like 'Mマガジン・サポーター', '元住吉西口', '元住吉東口', '元住吉近郊', '武蔵小杉近郊', '元住吉外郭・他', '宮城泉仙台/群馬県'.



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music. Mマガジン 2023年5月16日号 2023年4月16日発行 (毎月16日発行) 第99号



●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Mates



音友レコード倶楽部 レコードコンサートのプログラムは Light & Jazz 合同開催 ●Jazz Date 「ジャズファンの集い」 ●持ち寄りタイム 「持参レコード/CDを楽しむ集い」 2023年5月4日(木・祝) 13:15開場/13:30開演 参加費:¥1,500 川崎市国際交流センター レセプションルーム

元住吉の気軽な音楽会



音楽好きな友の会 http://ontomo.jp/

後援 川崎市中原区「音楽のまち・かわさき」推進協議会 公益財団法人川崎市国際交流協会

ミニッツ:夫婦漫楽デュオ。2017年結成。横浜在住。正統派ギター弾きの夫、オカリナ・ハーモニカ・鳴物楽器等色々な楽器を自由自在に操る妻。

「和の心」を随所に取り入れた独自の演奏スタイルで、目でも耳でも楽しめるパフォーマンス型ステージを展開。「楽器本来の美しい音色」×「夫婦漫才」で皆様に愛される演奏家を目指している。2023年2月1stアルバム「静の中の動」をリリース。ホテルロビー、レストラン・バーの演奏、音楽フェス、各種イベント等で活躍中。

連載44 そして音楽の旅は続く 渋谷のJZ-Brat、観客は錚々たるメンバー ジャズボーカリスト 星乃けい official website https://www.hoshinokei.com LIVE活動と先生の二足の草鞋で、毎日が音楽だらけ。勉強だらけの素敵な日々です。そんなある日、以前ホテルのラウンジで唄うお仕事でお世話になった会社から、お仕事依頼のお電話をいただきました。世界一周の豪華客船でショーをやりますか?と。私は世界一周の豪華客船に乗ったことない。でも行きた〜!詳しいことをお尋ねする前に「行きます!」即答しました。生徒さんをお願いしてレッスンをしばらく休講させていただきました。

音友レコード倶楽部PR動画! 「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

鳥倉 学ミュージックスクール 驚くほど歌い方が上達する 「鳥倉 学メソッド」 歌が人生を変える 音楽は決して貴方を裏切らない

鳥倉 学ミュージックスクール プロ志望専門ヴォイス・トレーニング 30分無料体験レッスン実施中! 【レッスンスタジオ】元住吉西口 徒歩5分 鳥倉音楽スタジオ 〒211-0025 神奈川県川崎市中原区本月3-35-1 ART FLATS B1F(104F) 【お問い合わせ】 鳥倉音楽事務所 代表 鳥倉 学 営業日:火曜~土曜 12:00~21:00 定休日:日曜・月曜 TEL 044-567-5940

川崎市国際交流センター 外国人のための就職活動セミナー ●日時:2023年5月20日(土曜日) 10:00~12:00 ●会場:川崎市国際交流センター 2F 団体活動ルーム ●講師:方真華[ほう ていか](宇賢教育学院 院長) ●対象:外国人学生・外国につながる一般人 ●定員:20名(先着順) ●料金:無料 ●内容:就職活動の基礎知識と流れ、マナー、面接の実践とQ&A ●問い合わせ・申し込み: 川崎市国際交流センター(公財)川崎市国際交流協会 TEL044-435-7000 E-mail:soudan39@kian.or.jp

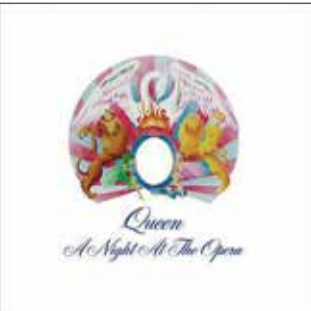
川崎市生涯学習プラザ 第124回 ランチャタイム・ロビーコンサート ●日時:2023年5月18日(木) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定 ●場所:川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー ●料金:無料 ●出演:山崎英明/声楽(江野藍子/ピアノ伴奏) ●プロフィール:愛知県立芸術大学卒業。三重大学大学院修了。各種コンサートなどに出演するほか、アウトリーチ活動にも力を注いでいる。今年1月にはオペレッタ「メリー・ウィドウ」で主役のダニロヴィッチ伯爵を好演。近年では日本語歌唱とその魅力を伝えるための活動をライブワークとしている。東京室内歌劇場、日本演奏連盟所属。

音楽好きな友の会(音友会) 5月4日は「おどるボンポコリン」の誕生日! 1951年5月4日はブルースシンガー近藤房之助氏の誕生日。近藤氏は当初ビートルズなどのヒットチャートを追いかけて、ブルースシンガー「フレディ・キング」のアルバムを購入したのをきっかけに、ブルース一辺倒になった。また、最初はドラムを演奏していたが、その後ギター、ボーカルに転向し、1990年にソロアルバム「You'll never break my "HEART OF STONE live at PIT INN」でデビュー。同時に、アニメ「ちびまる子ちゃん」のエンディングテーマ「おどるボンポコリン」で大ヒットした「B.B.クィーンズ」を結成し、現在もソロを中心に活動を継続しているとの事です。

5月4日(木・祝)「Jazz Date」(ジャズファンの集い)プログラム ●リー・コニッツのクールジャズ特集 担当:吉井ちづ子 持ち寄りタイムのご案内 毎月開催中のレコード倶楽部では、月毎の担当DJの「セレクトによる特集」の後、参加の皆さんが持参いただいたレコード、CDをかけて鑑賞する「持ち寄りタイム」があります。持ち寄りタイムでは皆さんの愛聴盤、秘蔵盤をご紹介いただき、鑑賞しています。ジャンルは問いません。持ち寄りタイムでは幅広いジャンルからご紹介をいただき、毎回、新たな音楽との出会いがあります。是非、レコード、CDを持参いただき、ご紹介ください。もちろん、お手持ちのレコード、CDがなく、鑑賞のみの参加も大歓迎です。

連載30 団塊じいのジャケ買い遍歴 食わず嫌いで損をした、クイーン

神山 昇



▲フレディ・マーキュリーがメンバー4人の誕生星座をモチーフにデザインしたと言われるジャケット。

当初の僕は「クイーン」と言う名のバンド名を知っていたが、人の意見に影響されやすい性格もあって「ダサイ、時代遅れのバンド」と彼ら認識していた、友人から「良い曲があるぞ」と勧められても今ひとつ食指が動くことがなかった。

ある日、渋谷のレコード店でプロモーションビデオが流れていた。「キン

グ・クリムゾン」を聴き入っていた頃だったと思う。「ウィズ・ザ・ビートルズ」のジャケットデザインを彷彿させる、メンバーの顔がコントラストを際立たせた、コーラスをしている映像が流れていた。それが「ボヘミアン・ラブソディ」のプロモーションビデオだった。

アカベラから始まり、バラード、オペラ、そしてハードロックとなって最後にバラードで締める。そんな構成にも驚いた。

数人の客に紛れて観いていた僕はすっかり虜になっていた。しかし、世間の目を意識する僕は、「ダサイバンド」と言い放っていたため、買って帰りたいLPをあきらめ、以後聴くことをしなかった。

それから40年以上経った2018年。公開された伝記映画「ボヘミアン・ラブソディ」を観てしまった。

食わず嫌いのようにして、聴かず嫌いで「クイーン」を翻弄したことに後悔した。

そのことを友人に話すと「ヴォーカ

ルのタンクトップは、俺も馴染まなかった」と慰めてくれた。

そしてYouTubeで改めて聴くことになったが、やはり同時代で聴きたかった音楽であったと改めて思うことになった。やはり食わず嫌いは後々まで未練がましくなってしまうのだった。

そういえば「ボヘミアン・ラブソディ」グッズのごとく音楽もインターネットでプロモーションビデオ付は当たり前となった。映像もお金をかけて凝ったものもあれば、シンプルにライブを流しているものもある。それにLPから聴く時代は無くなり、スマホから音楽をイヤホンで聴く時代となった。それなりに便利になったのだがレコードジャケットがそれなりにプロモーションビデオに変わったのだから。先日友人のミュージシャンから「CDを出すのでデザインを」と依頼があった。喜んで快諾したのだが「CDを買う人はいるの?」と聞いてみた。「グッズです」と即答された。

今や、CDすら楽曲発信の記念のグッズとなったのだ。

音友レコード倶楽部Report Light Music 2023年3月コンサートの報告

クリード・テイラー傘下のアレンジャー達

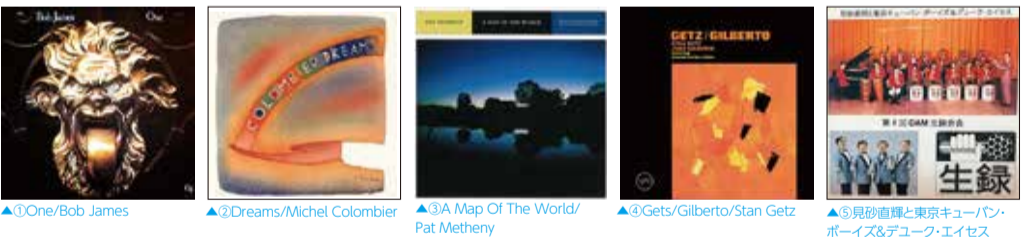
藤田 順治

3月21日(火)はWBCで日本が準決勝で勝利し、翌日の決勝戦を控えて朝から話題になっていた。音友レコード倶楽部も今回より「各集い」のDJが1人で50分の担当に変更になり、参加者の方々と団楽を楽しむレコード、CD「持ち寄り時間」を増やしました。初回は、昨年惜しくも亡くなったアメリカの音楽プロデューサーのクリード・テイラー。彼は古くはベッツヘルムレコードからインパルス、ヴァープ、A&M、CTIなどいくつかのレーベルで活躍しました。ジャズの大衆化を図り、題材としてクラシック曲や同時代のソウル・ミュージックも積極的に採り入れ、クロスオーバーミュージックのブームを作った立役者で、ボサノヴァを世界に広めたジャズ・プロデューサーでもあります。

ム「Walking In Space」にピアニストとして参加し、そこでテイラーと出会う事となります。その後アレンジャーとして抜擢され、CTIで4枚のソロアルバムも発表しました。CTIから独立後も数々のソロアルバムを発表、フォーブレイ(スムーズジャズ、フュージョンのグループ名)への参加と活躍の場を更に広げています。本日はCTIにおけるファーストアルバム「One / Bob James」(写真①)よりクラシックの作曲家ムソルグスキーの「はげ山の一晩」、ロバート・フラック作曲でマリナー・シヨウも歌っている名曲「フィール・ライク・メーカー・ラブ」をインストで聴いてもらいました。2番パターンはエウミール・デオダート。彼はブラジルのミュージシャンで地元でも有名でしたが、更に飛躍したのがテイラーとの出会いです。CTIにおけるファーストアルバム「Prelude / Eumir Deodato」よりフランク・シナトラ等が歌っているポップな「輝く腕輪とビーズ玉」、それ以外にもアントニオ・カルロス・ジョビンの曲を二人のアレンジャー「エウミール・デオダート、クラウス・オーガマン」によってどの様に料理されているかを聴き比べてみたり、ドン・セベスキーアレンジによる「Bumpin' / Wes Montgomery」より「パンピン」、デイヴィッド・マッシュューズによる「Senor Blues / Urbie Green」より「セニョールブルース」なども聴いてもらいました。持ち寄りタイムはイージーリスニングの大家の一人マントヴァーニの「ウナ・セラディ東京」、「Dreams / Michel Colombier」(写真②)よりトウツ・シールマンのハーモニカが

フューチャーされた「エマニュエル」、「The Definitive Collection / Lionel Richie」より「ハロー」、バットメセニーが同名映画にインスパイアされ、心が洗われるような透明感が漂うギター演奏「A Map Of The World / Pat Metheny」(写真③)より「ア・マップ・オブ・ザ・ワールド」、プリシラ・パリスがビリー・ホリデイへ捧げたジャズ・ヴォーカル集「Priscilla Loves Billie / Priscilla Paris」より「ジャスト・フレンズ、ヒーズ・ファンニー・ザット・ウェイ」、二人の偉大なテナーサクソ奏者、ベン・ウェブスター、レスター・ヤングとオスカー・ピーターソンの共演盤より「サンデー」、「アイ・キャン・ギブ・ユー・エニシング・バット・ラブ」、そしてボサノバの大名盤「Gets / Gilberto / Stan Getz」(写真④)よりアントニオ・カルロス・ジョビンとアストラッド・ジゼルベルトのボーカルの掛け合いが聴ける「イパネマの娘」などを聴きました。

最後は1979年朝霞市民会館におけるDAM生録音会の貴重な音職人と呼ばれる故・行方洋一氏(元芝音楽工業のレコーディング・エンジニア、オーディオ評論家)の「一発録り」録音で「見砂直輝と東京キューバン・ボーイズ&デューク・エイセス」(写真5)を聴きました。前半はラテン特有のブラスやリズムが刻まれる東京キューバン・ボーイズによる「キエレメーチョ、セレンローサ」、後半は東京キューバン・ボーイズをバックに「デューク・エイセス」のコーラスによる「ジェリコの戦い、思い出のグリーン・グラス」などを堪能して本日の音友レコード倶楽部を閉会しました。



take21 元住吉ミュージック・フェスティバル出演者説明会が終了 塚田 親一

去る3月7日(火)の午後、出演バンドへの説明が行われ、今回はボランティアスタッフが一同に介しての説明会となりました。13時30分と15時30分の2回に分け、会場となるホールで「2023-MMF出演者への説明」とMマガジンの「出演者紹介へ」などが配布され、出席の代表演奏メンバーはホールの好きな席で説明を受けました。最後は演奏会場の案内および演奏メンバーが会場の音響を試す楽器の音出して会場の雰囲気を確認して終わりました。

説明の終わったホールでは各人楽器の響き具合、トランペットで、またソプラノの後藤いちごさんはギター演奏をバックに「サマータイム」を会場一杯に響き渡る生声で歌っていました。ピアノの山崎綾子さんも音の響き具合を試し「楽器本来の生音」の感覚を確認してました。

のようにとスタッフ一同作業導線など確認しながら調整打ち合わせに頑張りました。また毎月発行の「Mマガジンの表紙」を飾って貰えるモデル応募で「ミニッツ(夫婦漫染デュオ)」の応募が有り早々にこの5月号の表紙をお願いしました。



▲第2回元住吉ミュージック・フェスティバルの出演者説明会が1階国際交流センターホールにて行われました。

連載01 脱線ニューヨーク滞在記 1971年、初めてのニューヨーク・ソーホー暮らし 出村 克明

僕がニューヨークへ行ったのは1971年で1年2か月の滞在でした。僕の初めての海外旅行でした。その頃日本は、大阪万博が終わり田中角栄の「列島改造論」、赤軍派の事件等今と変わらぬ色々ありました。1ドル360円の時代でした。そしてベトナム戦争のさなかで、そんななか反戦運動が広がり、運動してアメリカでヒッピー文化、フランスでは「五月革命」中国では「文化大革命」、日本で前述した赤軍派に繋がる全共闘運動などが青年を中心として広がりました。物質文明に対して価値観の相違や今日大きなテーマとなっている広義の環境や人権の問題などが云いだされ始めた時代でした。

僕がニューヨークへ行ったのは1971年で1年2か月の滞在でした。僕の初めての海外旅行でした。その頃日本は、大阪万博が終わり田中角栄の「列島改造論」、赤軍派の事件等今と変わらぬ色々ありました。1ドル360円の時代でした。そしてベトナム戦争のさなかで、そんななか反戦運動が広がり、運動してアメリカでヒッピー文化、フランスでは「五月革命」中国では「文化大革命」、日本で前述した赤軍派に繋がる全共闘運動などが青年を中心として広がりました。物質文明に対して価値観の相違や今日大きなテーマとなっている広義の環境や人権の問題などが云いだされ始めた時代でした。



出村 克明(でむらかつあき)：建築会社を営むパーカッション奏者。コンセプトアーティスト。ニューヨークを皮切りに欧州、アフリカ、中近東、インド、他を2年余り旅。シアトルでパーカッションをゲリー・ハーディンに師事。現代アートでは空気、無を箱包いて送る。エアメールアートを展開している。

のちのち知る事になったのですがそのビルオーナーはマフィアでビッグタディーと呼ばれ、ゴッドファーザーのモデルだと真意のほどはわかりませんが聞きました。

で、今思うとエレベーターボーイのおじさんサリーも昔はマフィアの若者でならしたかもと、その時もファミリーの一人だったでしょう。夜は居なくて誰かが動かしてました、彼が居る時に勝手に動かすと怒られます。彼は日本はキューバの隣ぐらいにあると思ってました。

ビッグタディーはイタリアンセクションで雑貨屋の様な店をしてましたが、これで商売やってるのって感じて教えられるほどの少ない商品が埃をかぶってました。どういう訳か僕は短めのT定規を買いました。彼はいつも居ないのですがその時はカーキ色の作業着みたいのを着てました。そんな事もあってそのロフトの屋上のコートール塗りの仕事をたのまれました。大体ソーホーのロフトは昔織維工場だと色々な家内工場だったのを芸術家たちが借りだしたようです。なにしろひびでた。ヒッピーがタクシードライバーだと感じ入りながら外を見ると初めて見る大きなトレーラー(コンボイと云うのが)が高速道路を連なって走り時折ブオーと大きな警笛を鳴らしてました。僕を迎えるように。

居候先は偶々彼が日本に来た時に友達になった柴田雄一郎さん(今はミッドタウンに移りニューヨークで活動してる画家)のロフトでした。ロフトだと

クのため息」と紹介してました、そのシーンとナレーションよく覚えてました。(同時期にシリーで「ヨーロッパの夜」と云う題名の映画もあって逆光で影を見せるストリップショーも思い出しました。)僕は中学生時代家が近いこととタダ券もあって飯田橋にあった「佳作座」と云う映画館によく見に行きましたがこの映画もそこで見ました。その屋上で僕はコートールの匂いを嗅ぎながら...

柴田さんのロフト三か月ほど居候しました。毎夜パーティーでした。その場所はソーホーの真ん中で画廊等が立ち並ぶウエストブロードウェイから2ブロック、イタリアンセクションもチャイナタウンもすぐでした。

ソーホーとかイーストビレッジは1960年中頃からビートニクなどカウンターカルチャーの中心地だったグリニッジビレッジから観念的に商業主義を嫌う芸術家達に移った感じで、勿論熱狂的ではないですが。後々ソーホーへも行きましたが家賃の高騰もあってかその頃とは大きく変わってました。

その頃レオ・キャステリなどの画廊もミッドタウンからウエストブロードウェイに移って来ました。通りの角にはOKハリスと云う大きな画廊もあり日本人作家も展覧会をしてました、小野洋子とジョン・レノンも移って来たとも聞きました。ギンズバークやパローズ、詩人達も近いところにいたんでしょね。

連載80 「くじら座」日記 3年半

牧野 憲人

先日、3年半振りに元住吉を訪れた。かつては毎月のようにこの賑やかな街並みを眺め、心躍るかけがえのない時間を過ごしていたが、コロナ禍となってからは、なかなか地元の静岡を抜け出せない日々が続いていた。駅を降りて、長いエスカレーターを下ってゆく光景を見ると、まるで懐かしさと温かさが心を包み込むようだ。またこの街に来ることができて良かった、思わず目頭も熱くなった。

にとって、役者という新しい取組は、この街から始まると言っても過言ではない。

この4月に行われたMMFでも元住吉に縁を持つことができたが、時が経っても再び繋がりを持つことができるのは、決して偶然の産物ではないだろう。この街やこの街に住む方々、そしてこれまで応援してくださってくださった方々との関係によって、ご縁をいただけた結晶なのだと感じる。今回の撮影を経て、一体どんな作品が公開されるのか、ぜひお楽しみにしていただけると嬉しい。



連載60 Course: Addicted to Guitar 手取り早くジャズっぽいフレーズ その5 コンディミスケール メジャートライアドの抽出

いつもお世話になっております。今月も引き続きセッションなど実戦で役立つフレーズをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りしていきます。今回はみんな大好きコンディミです前回同様構成音チェック! Root.b9th.#9th.M3.#11th.5th.13th.7thとなります 進行はFmへ向かうII-V-Iを使用しまして、C7にCのコンディミをはめ込みます 早速譜例です 図で確認していくとわかりやすいのですが、スケール内に色々な和音を作ることができるんですよ 代表的な例として今回はメジャートライアドを抽出していく方法をご紹介します Cコンディミ

内Gb、A、Cのメジャートライアドが存在するのがわかります ギターで弾く場合は横に3f(短3度)ずらすだけで済んでしまうので、かなりイージーですね

このように視覚的に連結させるだけでも強烈な響きを作ることが可能ですので、是非自分だけのリックを作ってください! ではまた次回!

Chord diagram and musical notation for C7 triads. Includes a guitar fretboard diagram showing chord shapes and a corresponding musical staff with notes.

Souleave Music School advertisement. Includes the school name, website URL (http://souleave-music.com/), address (元住吉駅徒歩3分, 武蔵小杉駅徒歩13分), contact info (チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992), and lesson times (レッスンは8:00~22:00開始迄, 詳細は要連絡).

MOTTON CLUB advertisement. Includes the club name, a QR code, and text about a nationwide musician network and music activities. Text: 全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わる人をネットワークしたい。「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信、運営可能なスタッフも募集中)